

## 平成25年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	新緑会
議員名	早坂 博 羽立 秀光
調査実施年月日	平成25年11月21日(木)
調査先 自治体名等	滋賀県 大津市
調査項目	「公共施設のあり方検討」について
調査目的	大津市公共施設白書の調査
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口: 337,629 人 行政面積: 464.10 km<sup>2</sup></p> <p>2 視察内容 大津市公共施設白書について 大津市公共施設白書を具現化するために推進体制について</p>
感想(まとめ) 本市へ生かせること等	<p>大津市では、少子・高齢化の進行、高度経済成長期に建設された様々な公共施設の老朽化の更新時期を迎え、今後税収の伸びが見込めない中、抜本的な公共施設の在り方を検討する必要に迫られていました。また、現状のまま公共施設を維持していくことは将来にツケを残すこととなり、子や孫たちへの負担を減らそうという理念のもと、平成22年に行政改革プランの中で、「公共施設のあり方検討」が提唱され、本格的な検討が始まりました。</p> <p>大津市公共施設白書について 大津市公共施設白書は、平成24年に完成し、「公共施設の現状」「公共施設の分類」「将来の修繕、更新コスト試算」「今後の方向性」等で構成されています。白書では下記のような特徴的な取り組み(コンセプト)が行われています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公共施設棟単位での維持管理費と将来コストの具体的金額の算出(試算)し、将来をよりイメージしやすくする</li> <li>2. グラフ・図などでできるだけ視覚化し、わかりやすい内容とする</li> </ol> <p>大津市公共施設白書を具現化するための推進体制について 大津市公共施設白書を具現化するための推進体制として、専門部署の設置の他、外部の学識経験者などで組織される「公共施設マネジメント推進委員会」が設置されています。この委員会は、市民、専門家など幅広い層からの意見を聴取や具体的実施方法の検討など、今後の公共施設のあり方を検討していく際の重要な機関としての役割を果たしています。</p> <p>大津市での今後の取り組みとして、「ファシリティマネジメント(最適な状態での施設管理)支援システムの導入」や「施設の長寿命化計画」などより具体的な取り組みに着手する予定をしているとのこと。</p> <p>上記の「公共施設マネジメント推進委員会」は、条例により設置されたものであり、大津市における取り組みは本格的であることを実感しました。本市でも、公共施設の老朽化が進行しており、修繕費等の増大が懸念されています。本市においても将来展望を見据えた計画が必要な時期に来ているのではないかと思います。</p>